

第 2 回箕面口マン創出懇話会会議概要

(11月16日実施分)

全体概要

第1回目の議事内容を踏まえ、7事業全ての計画案が提示された。各事業の具現化に向けて、整備のあり方、手法等について協議を行った。

議題1 第1回箕面口マン創出懇話会の振り返り【資料1】

事務局から前回開催した懇話会の概要について説明。

議題2 まちづくり実施計画書(案)の提示及び検討について

実施計画策定コンサルタントの株式会社緑景から全体の案について一通り説明。その後、事業ごとに委員間で意見交換。

議事概要

- 1 歴史のしるべ・クローズアップ事業(歴史解説サイン)

<主な意見概要等>

- ・「サインの設置場所が民地である場合、設置の交渉を図る」とあるが、交渉がうまく進まないことも想定して表記しているのか。

民地所有者が難色を示す場合も想定されることから表記した。仮に交渉が困難となる場合、公共で管理する範囲(=道路空間)に設置することになる。

- ・西江寺を外した理由は何か。ここ(中の坂)が一番歴史があり、統一感をもたせるためには、西江寺にも同じものを作る必要がある。

西江寺の前には既にサインが設置されていること、また、今回の事業は滝道の部分を重点的に整備していくため対象から外した。但し、例えば一の橋のたもと付近に西江寺と中の坂の道を含めた歴史のサインを設置することは可能である。

【委員長】

西江寺にあるサインはそのまま活用し、一の橋のたもと付近に西江寺も含めた中の坂のサインを設置も考えられる。

- ・A～C案の3案から選ぶとなると難しい。A案の足元はどうなっているのか。イメージにあるような模様を入れることも可能であるが、模様は入れないシンプルなもので考えている。
- ・駅前には既にサインが立っているが、今回整備するサインとの整合性はどうか。滝道に整備するサインは歴史を伝えていくという意味で、街中のサインとは少し風合いを変えたものでもいいと考えている。

今あるサインは、どこに何があるかという地図を目的としたサインであり、今回整備するサインは歴史を説明するサインであることから、設置目的が異なる。

- ・街中のサインと滝道のサインとは必ずしも合致していなくても、滝道は滝道らしいサインが設置されればよいと思う。
今設置されているものを含めて全て統一させようとするのが難しい。
- ・今回は滝道を中心とした箕面地区の話であるが、今後、他の地区に広げていくことは考えているのか。
市全体として統一した案内板を整備することは今後考えていかなければならないが、今回の計画ではそこまで考えていない。
- ・A～C案と3つ出してもらっているが、コストはどれくらいするのか。
A～C案どれをとっても、1基あたり40万円程度である。先程の意見で、西江寺の既存サインでデザインする案があったが、その場合は、1基あたり100万円以上すると思う。
- ・公共空間のサインなので、いたずら等によるリスクもあることから、耐久性等についても十分加味する必要がある。あまり複雑なもので復元するのにコストがかかるものは避けるべきである。
- ・箕面動物公園と不老門は現在ないので、そこにサインを設置する場合、写真など視覚的にわかるものが必要ではないか。梅屋敷は今あるものなので写真は必要ない。
梅屋敷など既存の施設においても、昔の写真を掲載する予定である。

< 欠席委員からの意見 >

- ・自然の緑に一番合う色は「茶色」ということで、A案がいい。

- 2 歴史のしるべ・クローズアップ事業（ライトアップ）

< 主な意見概要等 >

- ・梅屋敷や瀧安寺等は困難とあるが、協議した結果なのか。
ライトアップに関してはポイントを絞って実施したいと考えており、整備の優先順位を考慮し、今回は候補から外した。

【委員長】

歩く側からすれば梅屋敷をライトアップしたほうがいいので、優先順位をどうするのかコストの範囲内で改めて検討する。

- ・梅屋敷をライトアップして人をどのように動かしたいのか。
現在川床の実施を検討しており、部分的にライトアップすることで人を誘導していきたい。その一部として歴史的な建物をライトアップして観光客の増加につなげ、地域経済の活性化をはかりたいと考えている。

- ・ライトアップについては時期を考え、イベントなど期間限定でやってほしい。
- ・瀧安寺の鳳凰閣は対象に入っていないが、明治のイメージを作り出すという意味で、ライトアップしたほうがいい。
- ・野村泊月の句碑そのものが荒れており、整備しないままライトアップしても単なる演出だけになってしまう。

【委員長】

どこをライトアップするか、どのようにライトアップするかは、今日の意見を整理して再提示するようにする。

滝道美装化（石畳）整備事業

<主な意見概要等>

- ・たまり部のみ石畳舗装をすることだが、本当に明治ロマンが創出されるのか疑問。滝道のたまり部については、特に自然と触れ合う部分が大きいため、自然にマッチする舗装を考えている。
- ・時雨松たまり部に既存のライトがあるが、ガス燈風街路灯を整備した場合どうするのか。既存のライトは撤去し、新たにガス燈風の街路灯を整備することになる。
- ・時雨松の所については、石畳にせず現状（土）のままでいい。
- ・アスファルト舗装の中で急に石畳が現れるのは違和感がある。滝道のセンターに石畳を舗装し大瀧まで続かせたり、両サイドを石畳で舗装する感じをイメージしていた。そのように整備すれば情緒が高まりいい道になると思うが、全体の事業費等を勘案すると、今あるアスファルトの道の色をもう少し落ち着いた色にすることまでしかできないと考えている。
- ・石畳に整備するよりも、土の上を歩けるほうが箕面らしく、時代を感じると思う。滝道を歩かれるかたは、土（もしくは落ち葉）の上を歩くことを楽しみに来られると思う。
- ・公園管理事務所としては、下水を入れ替えた時に舗装が継ぎはぎになっており、段差が出てきて劣化してきていることから、歩行性の確保やバリアフリー等を鑑み、滝道の舗装を優先順位の一番に考えている。
- ・一の橋のたまり部については、現在自転車・バイク置き場になっているので、その点を踏まえた上で整備してほしい。また、看板が多いので整理する必要がある。自転車・バイク置き場及び看板の件に関しては、整理した上で次回提案したい。
- ・現在梅屋敷の前に道標が設置されているが、元々は一の橋のたまり部にある「箕面公園」と書いた石碑がある場所に立っていたものなので、元の場所に戻してほしい。

滝道ガス燈整備事業

< 主な意見概要等 >

- ・市の事業区間と府の事業区間が分かれているが、統一されたものが整備されるのか。
統一したものを整備する。
- ・現在白色の街路灯が2ヶ所程あるが、過去に橙色に統一して整備した街路灯を白色の街路灯に変えてほしいという意見から変更した経緯がある。しかし、今回このような意見が仮に出たとしてもすぐに変えるべきではない。時間が経ってそれでも白色にしてほしいという意見が出た時に調整すべき。
- ・滝道の街路灯は現在網みたいなものが被さっているが、あれは何なのか。
網ではなく、デザインによるものかもしくはサル対策上で必要なものかもしれない。
今回の整備によりデザインを揃えたい。

【委員長】

ガス燈風ということ考えると、上を向いているものがいい。

- ・橋本亭の部分について、「軒から電線をまわすなど、架線が目立たなくする受電方法をとる。」とあるが、事前に調整するのか。
事前調整は行う。

駅前ガス燈・アーケード等整備事業

< 主な意見概要等 >

- ・みのおサンプラザの北側にある「桜通り商店街」にも他と同じようなアーケードが続いているが、他と同じように統一感をもたせるために整備するのか。
平成19年に策定した整備計画において、北側のアーケードについては壁面の美装化というところで終わっている。今回どうするかは議論したらいい。
- ・アーケードのトップライト整備について、今の改修イメージ案だと明の部分と暗の部分がはっきりと分かれてしまい、本当に明治ロマンを醸し出すのか疑問なので、もう少し検討したい。
- ・本当に費用をかけてまでアーケードを改修するだけの値打ちがあるかどうかをまず判断してほしい。バス停の部分は鉄骨部の強度が高く、耐用年数から考えれば、全部やりかえる必要はない。
サンプラザ2号館のアーケード部分だけでも、全部やりかえると1億5千万円程コストがかかる試算となっており、何を優先して整備するかを検討していきたい。
- ・シェルターのイメージ案が直線的なものが多い。もう少し丸みを帯びたもののほうが優しさが感じられる。
耐火性を保つために網入りの強化ガラスを使う必要があり、ガラスにアールがあるものを使うとなると莫大なコストがかかることから難しい。

駅前広場修景事業

<主な意見概要等>

- ・シンボルツリーは、箕面らしさを感じられるイロハモミジを中心に考える。
- ・「花壇・植栽整備」とあるが、ここは平成19年の計画の答申どおりに植栽を撤去できないのか。
見通しの悪い植栽は撤去して、立ち木にすることにより見通しを確保する。
- ・ロータリーについては、ウェルカムゲートと一対をなすものであることから、何も植えずに芝生にすることで、透視性を高める形がいい。
- ・植栽がないと排気ガスの中を歩く感じがする。
- ・車止めは、機能面でしっかりしたものにする必要があるが、あまり目立たせないように、立ち木とバックにあるレンガの建物を活かすものにしなければいけない。

本通りエントランス整備事業

<主な意見概要等>

- ・イメージ的にかたい。アーケードとの連続性を考慮し、他とも併せて全体的に柔らかなイメージのものにしてほしい。

わいわい空間整備事業、その他

<主な意見概要等>

- ・イベントステージを想定されているが、常時使用するものではないので、使用しないときには休憩するためのベンチ代わりになるよう、階段状のものにしたほうがいい。
- ・イベントステージと併せて、立ち木も植えられないか。
シェルターの柱がくる所の近くに木を植えるようにすることで、イベントステージの場所と立ち木になる場所を確保するような形にするよう再度検討する。

<その他> 欠席委員から懇話会の運営及びまちづくり実施計画案等についての意見書が提出され、各委員へ配布。 意見等なし。

おわりに

- ・今回は、各委員からの意見を踏まえ、改めて株式会社緑景から計画案を提示する。

次回懇話会の開催日時及び場所について

12月4日(金)午後7時より、職員会館2階集会室にて開催。

以上